



沖崎 裕

勤務先：

(株)シビテック 地質部
〒003-0002 札幌市白石区
東札幌2条5丁目8番1号
TEL 011-816-3005

FAX 011-816-2562

E-mail : h.okizaki@civitec.co.jp

専門：建設部門（土質及び基礎）

1. 自己PR

私は1971年（昭和46年）天塩町で生まれ、転勤族の父親に連れられて北海道内を転々といたしました。小学校高学年からは埼玉、宮崎、東京、静岡と今度は内地を渡り歩き、札幌に落ち着くことができたのは高校生になってからです。北海道大学工学部資源開発工学科を経て、平成8年に(株)シビテックに入社し、地質部に配属されました。

母親の実家が田舎の農家だったこともあり、幼い頃はよく近所の山や川で遊んだものです。その頃から土や水と戯れることが好きで、今の仕事に就くのが自然な流れだったのかも知れません。

入社以来、主に土木構造物の地質調査、軟弱地盤解析に関わり、北海道内を歩き回ってきました。そこで感じたのは、札幌の中心部などは都会化が進んでいますが、少し郊外に車を走らせるとまだまだ自然が多く残っており、都会と自然がうまく共存しているということです。この良い共存関係を、後世に残して伝えていくことが土木技術者としての私の責務であると考えております。

最近、土壌汚染や産業廃棄物などの環境系の業務に携わる機会が増えてまいりました。「車の方が大事」、「いや、地球の方が大事」と言い争うガソリンのTVコマーシャルの様に、人間の生活と自然保護には相反する部分が多くありませんが、最善の方法を見つけて行きたいと思っております。

2. 技術士試験

私が技術士という資格を取得しようと思いはじめたのは、まだ就職先も決まっていなかった大学生の頃でした。それまでは、ぼんやりとした憧れでしかなかったのですが、社会人になって先輩技術士に接するにつれて、それは次第に目標に変わっていきました。業務で同業他社の技術士の方と意見を交わす際には、資格を取得していないために引け目を感じたことが多くあったことも事実です。

試験制度の変更によって技術次第一次試験合格が必要となったことから、まずは一次試験の勉強を開始しました。しかし、これがなかなか難しく、合格できたのは3度目の挑戦の平成14年度でした。一次試験に合格した勢いそのまま受験勉強を開始して、平成15年度の二次試験を受験。準備不足の感が否めなかったことや、手応えもそれほど芳しくなかったことから、筆記試験後は半ばあきらめかけていたのですが、運良く合格することができ、慌てて口答試験の勉強を始めたものでした。

業務多忙の中、指導や助言のみならず口頭試験の模擬面接までして頂いた先輩技術士の方々に、この場を借りてお礼申し上げます。

3. 今後の抱負

今回、技術士になることができ、私はやっと技術者としてのスタートラインに立てたと感じております。これまでの業務の遂行においては専門的な分野に偏りがちでありましたが、技術士という名を背負う以上、社会的責任は大きくなり、それだけでは許されなくなります。今まで以上に多くの方々に出会う機会に恵まれることとなりますので、諸先輩方の知恵、知識、経験をどんどん吸収していきたいと思っております。

微力ではありますが、土木技術の発展、そして北海道の発展のために努力していきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。